

城下町の景観を残した 心地よい集会場

1) 施設名(用途)	城西公会堂・城西屋台小屋(自治会館)
2) 所在地	掛川市城西1丁目1344番8番他
3) 事業実施主体	城西区自治会
4) 設計者	さんさい工房一級建築士事務所(掛川市)
5) 施工者	株式会社原田工務店(掛川市)
6) 施工期間	令和3年7月下旬 ~ 令和4年3月初旬
7) 施設概要	公会堂 木造2階建 屋台小屋 木造2階建
8) 規模(延面積)	公会堂 318.84㎡(延床面積) 屋台小屋 77.00㎡(//)
9) 主な使用樹種	▲掛川市産材はすべてFSC®認証材▲ 「公会堂」(総材積 54.8447㎡) 掛川市産材(スギ・ヒノキ)38.3744㎡・ほか、浜松市産材等 「屋台小屋」(総材積 17.2466㎡) 掛川市産材(スギ・ヒノキの羽目板)10.7759㎡
10) 施設の特徴等	<p>城西区は掛川市内の自治会の一つです。既存公会堂建物(鉄骨)の老朽化に伴う建て替え事業であり、本件は掛川産の木材を中心に木造(在来工法)にて建設されました。計画においては敷地東側の既存公園とのつながり、災害時の一時避難所としての役割、加えて掛川城に隣接する自治会としての伝統と格式を重んじた外観デザインを心がけています。</p> <p>計画当時はウッドショックによる木材高騰の影響を受けましたが、掛川市内の原木供給・製材流通業者との事前協力のおかげで良質な地元材を十分に確保出来ました。公会堂本体の1階は全てバリアフリーとして、道路や駐車場からのアクセスも段差なく計画されています。構造部だけでなく内装も木質化を心がけ、天井や建具など予算が許される範囲で杉桧材を利用しました。特に、屋台小屋の内部は、調湿効果を期待して全面を杉板材としています。材のグレードは節在り並材ではありますが、漆塗りされた立派な屋台との対比効果が生まれました。屋台小屋の観音扉を開いた状態での景観は美しく、郷土への愛着を促進してくれるものと期待しています。</p> <p>★第4回ふじのくに木使い建築施設表彰「優良賞」受賞。</p>

【施設の画像】左から①外観、②屋台小屋内観(入口方面を望む)、③公会堂内観

